

雌穂利用も期待できる飼料用とうもろこし

トレイヤ



「トレイヤ」はホールクropp、イアコーン、子実の幅広い利用が可能です。濃厚飼料であるイアコーンサイレージや子実とうもろこしの利用機運は年々高まっており、飼料自給率の向上に大きく貢献します。

特徴

- 雌穂収量が高い：サイレージ用にも、子実用にも適する！
- 耐病性：すす紋病、ごま葉枯病に強く、赤かび病抵抗性も！
- 耐倒伏性：台風・強風にも強い！



雌穂利用も期待できる飼料用とうもろこし

トレイヤ



「トレイヤ」はホールクロップサイレージだけでなく、雌穂、子実利用も可能で、すす紋病・ごま葉枯れ病に強い飼料用トウモロコシです。
雌穂収量が多いことが特徴なので、雌穂がよく取れることを意味する「とれる」と、雌穂の英語「イヤ」を組み合わせ「トレイヤ」と名付けました。

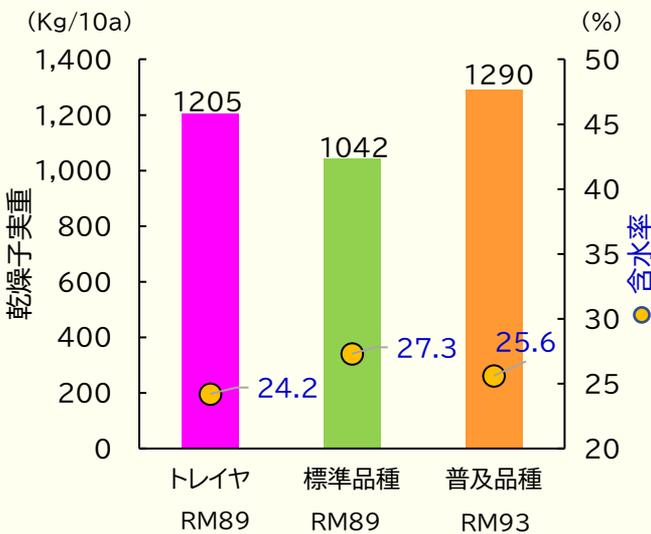
品種の特徴

- 雌穂収量が高いのでイアコーン・子実用としての利用が期待できます。
- 耐倒伏性に優れ、茎葉が少なく、子実の含水率も低いことから収穫作業の効率が高くなることが期待できます。
- 茎葉収量は少ないですが、TDN収量は同等で良好なホールクロップサイレージが生産できます。

栽培適地

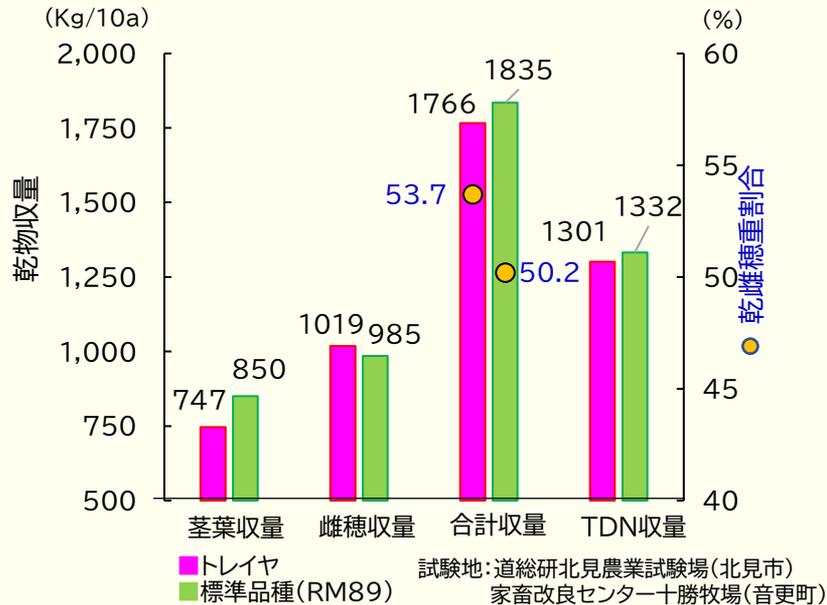
- ホールクロップサイレージ(WCS):
→北海道道央北部、十勝中部、網走内陸
 - イアコーンサイレージ(ECS)や子実コーン:
→北海道道央中部以南、道南エリア
- *WCS:茎葉と雌穂を一緒に収穫・裁断した発酵飼料
*ECS:子実・穂軸・外皮を収穫・裁断した発酵飼料

子実収量(乾燥子実重)



RM: 相対熟度(Relative Maturity)
試験地: 北海道農業研究センター(札幌市)

ホールクロップ収量特性



子実生産性試験の耐倒伏性

(%)	倒伏	折損	合計
トレイヤ	41.3 (7.0)	0.0 (0.0)	41.3 (7.0)
標準品種	85.8 (23.7)	0.4 (0.5)	86.3 (24.2)

北海道農業研究センター2022年試験。下段()内はホールクロップ生産性試験時で3場所4試験平均(2020年、2022年)

病害抵抗性検定試験(接種検定)

	すす紋病	ごま葉枯病	赤かび病
(試験年数)	平均(4年)	抵抗性判定	平均(3年)
トレイヤ	4.8	強	11.0
標準品種	5.5	中	26.0

すす紋病、ごま葉枯病は罹病程度1:無~9:甚、赤かび病は発病面積率%

